

初期消火

1. 「火事です！」と叫べ
2. 火元の患者を廊下へ避難させよ
3. 自分の安全を確保せよ
 - ・ヘルメット・マスクを装着
 - ・煙に注意！（タオルなどで口鼻を覆え！姿勢を低くせよ！）
 - ・排煙装置を起動！

4. **消火器**で消火作業を始めよ
5. 〈あ _____〉の到着まで作業を続けよ
6. 作業を受け渡したら、責任者へ報告せよ

- ・ **天井**に達する火災は“**延焼**”
 - ・ 「延焼中」と大声で叫び、責任者に報告せよ
 - ・ **部屋の扉を閉めて**退避せよ

避難・誘導

1. 避難路を確認せよ

〈あ_____〉職員と協力せよ

- ・【B _____】へ患者を誘導
- ・防火扉を閉める
- ・排煙設備を起動
- ・火元より遠い非常階段を確保

2. 責任者へ報告せよ

- ・「避難路の確保完了！」
- ・「防火扉・排煙設備の稼働確認！」

3. 応援職員に指示せよ

- ・防火扉・非常階段の扉の前に誘導員を配置
- ・(1) 患者の搬送, (2) 移動後の見張り・案内

4. 患者を誘導せよ (二区画水平移動)

- ・常に声をかけること
 - 「避難路はこちらです」
 - 「落ち着いて避難してください」
 - 「姿勢を低くして避難してください」
 - 「タオルや布を, 口にあてて避難してください」
- ・火元に近い患者から移動
- ・防火扉は人が通る時のみ開閉

避難方法

5. 避難の鉄則

- ・まず**水平二区画**避難 (【B _____】 , 同一階反対側病棟へ)
- ・階段を使った地上への**下向きの避難**は, **本部の指示**が原則
- ・避難は, 火元に近い患者から行う
- ・独歩患者, 護送患者, 担送患者の順に行う
- ・避難階段は火元から同一階二区画外の階段を使用する

6. 避難優先度を配慮

病棟勤務者が【患者の(1)救護区分 +(2)在室場所】 を考慮し,
避難の優先度を決定, 応援者へ指示する

7. 避難時の注意点

- ① 人工呼吸器装着あり
ベッドまたは車イスに酸素ボンベを用意し, 応援者を待つ
- ② 酸素使用中
ベッドまたは車イスに酸素ボンベを用意し, 応援者を待つ
- ③ 点滴施行中
点滴は抜針せず, クレンメをクランプする
(カテコラミン系の薬品はクランプしない)
ベッドで避難する場合は点滴台をベッドの足元にしっかり固定
輸液ポンプ使用中の場合は, 可能なら外し自然滴下で調節
(外せない薬品は輸液ポンプごと避難する)
- ④ ドレーン・チューブ挿入中は原則クランプをする
患者の体(頭・体幹)に排液バッグごとテープでしっかり固定する
- ⑤ 牽引中
重錘を外し, シーネ固定を行う
- ⑥ 脊髄損傷あり
フィラデルフィアカラー, マックスベルトなどの固定具を装着する
- ⑦ コミュニケーションに「支援を必要とする」患者さん
「ゆっくり」「はっきり」「短く」「具体的に」状況を伝え, 「やさしく」避難誘導

者

確認・通報・指示

1. 火災場所を確認せよ！

火災・ガス漏れ表示機を見ろ！

2. 火災を通報せよ！

室内消火栓の非常電話（【A _____】直通）

「火事です。 _____ 病棟 _____ 室から出火しまし

た。

応援お願いします」

3. 自病棟内に放送を流す

（落ち着いて、ハッキリと）

「お知らせします。ただいま火事が発生しています。

職員の誘導に従って行動してください」

（繰り返す）

「お知らせします。ただいま火事が発生しています。

職員の誘導に従って行動してください」

4. 指示出しに専念する

- 自分かリーダーであることを示す
- リーダー用ヘルメットの着用, 持ち出し袋を背負う
- ナースステーションから離れない
- スタッフの安全の再確認（ヘルメット・マスク着用確認）
- 応援職員の振り分け（初期消火・避難誘導・安全管理）

5. 病棟用チェックリストを確認する（火災5 / 5参照）

者

チェックリスト

6. 以下の項目が、すでに行われたことを再チェックする

- 火災発生場所を確認し、【A _____】へ通報（消火栓の電話）
- 〈あ_____〉職員が初期消火の応援に来ているか
- 【A _____】からの情報を自部署のスタッフに伝達したか
- 火災状況の変化を【A _____】に報告（消火栓の電話）
（〈あ_____〉職員が逐次行っていることを確認すること）

7. 避難準備を開始する

- 現在の患者数の確認（独歩・護送・担送）
- 避難誘導の責任者を任命（黄色いメガホンを持たせる）
- 避難経路の確認とその指示
- 避難時の患者の安全対策の確認・指示

8. 本部からの「避難指示」の後に、避難を開始する

- 患者の避難の最終確認とその人数の把握
- 病棟内の逃げ遅れの確認
- 酸素配管コック・酸素バルブの元栓の閉鎖
- 各部屋の扉・防火扉の閉鎖の確認
- 入退院伝票・入院台帳の持ち出し

9. 自衛消防本部【c _____】に最終状況を報告（内線c _____） その後、「部署別状況報告書（地震2）」を持参する